

第七号様式（第十一条第一項）

千葉県規則で定められた様式  
どおりに作成。

解散届出書

解散事由が「社員総会の  
決議」の場合

年 月 日

千葉県知事 ○ ○ ○ ○ 様

特定非営利活動法人○○○○

清算人 千葉市○○区○○町○丁目○番○号

千葉太郎 印

電話番号 043-×××-××××

清算人個人の住所・氏  
名・電話番号を記載し、  
清算人の印として提出  
した印を押印。

特定非営利活動促進法第31条第1項第1号に掲げる事由により下記のとおり特定非営利活動法人を解散したので、同条第4項の規定により、届け出ます。

#### 記

#### 1 解散の理由

主要なメンバーが退会してしまったため活動を展開していくことが難しくなりました。  
また、社員が10人を下回ってしまったため、社員の募集をしたが集まらなかった。

#### 2 残余財産の処分方法

##### [例1 財産が0の場合]

譲渡する財産は、ありません。

##### [例2 財産が多少ある場合]

財産の30,000円は、公告費用の一部として処分します。

##### [例3 財産がたくさんある場合]

残余財産は、定款により社会福祉法人○○に全額譲渡します。

#### 添付書類

解散及び清算人の登記をしたことを証する登記事項証明書（原本）

\*解散の決議をした総会の議事録のコピー及び財産目録があると内容がわかりやすいです。

特定非営利活動法人〇〇〇〇臨時総会議事録

- 1. 開催日時 平成〇〇年〇月〇日 〇時から〇時まで
- 2. 開催場所 法人事務所 千葉県〇〇市△△〇丁目〇〇番地
- 3. 出席者数 社員総数〇〇人うち出席者数〇〇人  
(うち本人出席〇〇人、表決委任者〇〇人及び書面表決者〇〇人)

4. 審議事項

- 議案第1号 特定非営利活動法人〇〇〇〇解散の件
- 議案第2号 法人残余財産及び残余財産の帰属先の確認の件
- 議案第3号 清算人選任の件

定款の定めに従い、出席者に書面表決者又は表決委任者が含まれる場合は、その数を付記。

5. 議事の経過と議決の結果

定刻に至り、理事〇〇〇〇氏が開会を宣言し、本日の臨時総会は定款に規定する定足数を満たしているのでこの会議が有効に成立している旨を確認し、議長の選任について諮ったところ、全会一致をもって〇〇〇〇氏が議長に選任された。

続いて議長挨拶のあと、上記3議案の審議を行った。

議案第1号 特定非営利活動法人〇〇〇〇解散の件

議長から、特定非営利活動法人〇〇〇〇は、事業の継続が困難であることから解散したい旨を説明し、議決を求めたところ、全員一致をもって可決された。

議案第2号 法人残余財産及び残余財産の帰属先の確認の件

議長から、財産目録により法人残余財産はない旨の説明があり、議決を求めたところ、全会一致をもって承認すべきものと決定された。

議案第3号 清算人選任の件

議長から、清算人選任の件について説明があり、当法人定款第〇条の規定により、理事が清算人になることについて議決を求めたところ、全会一致をもって可決された。

6. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるにあたり、議事録署名人2名を選任することを諮り、△△△△氏、□□□□氏を選任することを全員異議なくこれを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

年 月 日

議 長 ○ ○ ○ ○ 印  
議事録署名人 △ △ △ △ 印  
議事録署名人 □ □ □ □ 印